

じょうけい

真宗大谷派 至徳山 浄慶寺

親鸞聖人に出遭う
人と出遭う
私自身と出遭う

こころの抛りどころ
見つけませんか

ただ一度の人生
生きることを見つめ直す



新たな年を迎えて

浄慶寺門徒会会長 川嶋 正實

新春明けましておめでとうございます。今年は戌の年です。収穫時の作物を刃物で切り取り、ひとまとめに締めくくることが表しています。犬は人との付き合いも古く親しみ易い動物です。又お産も軽く「戌の日」が吉日とされています。さて昨年は、秋分の日門徒総会におきまして、ご懇志の件をご賛同いただきまして、誠に有難うございました。総代会世話人会では、何とか開かれたお寺、利用しやすいお寺にしたいとの一念で、努力いたしておりますが、何せ先立つものがなく今回のご提案となった次第です。早速懸案の山門、塀、永代供養墓等の工事にとりかかりたいと思っておりますが、ご懇志の納入状況とのからみがございます。

既にお手元に届いております「ご懇志の納入について」の記2の3行目の様に、一括納付又は何度かに分けて納付、と早めの納入をお願いしているところです。お寺の盛衰は門信徒の結束力にかかっていると思います。

寺報も発行の運びとなり、その4面は行事予定が載っています。からだが動ける内は、これらの行事に、参加していただけたらと切に思います。私も含めて門信徒が、うちのお寺は素晴らしい、あったかいお寺だ、心がやすまると人に言える、自慢出来るお寺に、皆んなでつくり上げて行きたいと考えています。

新たな戌の年にあたり、ご一緒に一步一步、歩んで参りましょう。

浄慶寺住職 大塚 展彦

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、浄慶寺護持にご協力をいただきまして誠に有り難うございました。ところで、浄慶寺の山号(さんごう)は、「至徳山」(しとくさん)といひます。「至徳」とは、南無阿弥陀仏と口に称えること(名号・念仏)を意味します。「心が落ち着いていると、沢山の人の中において賑やかで楽しい、一人であると静かだ。一方、心を取り乱している、沢山のいると騒がしい、一人であると寂しい」ことが私達には、あります。親鸞聖人は念仏する時「私たちの心の中に静かな風が吹きぬけ、その風が諸々の災いを転じて徳と成る」と、お話されました。「心の落ち着きを取り戻す」念仏の徳を説かれています。

本年は、ご門徒の皆様の御協力をいただきまして、老朽化した山門の修復をはじめ境内施設の整備事業が開始される年となります。「平常心」に立ち返る場としての浄慶寺を大切にして、皆様と共に歩んでゆきたいと感じております。

山門再建に伴う境内環境整備計画について

総代 中村 皓二

昨年の秋の門徒総会におきまして皆様のご賛同を得て、山門再建計画が一步前進する運びとなりました事について、門徒の一人としてお慶び申し上げます。

この山門再建は、本堂・庫裏の完成より、まる十年を経過をして残された課題でありました。

今後の段取りは、山門と塀及び永代供養墓など本格的な設計に入り、その設計に基づいて各工事別の予算配分などを検討していきます。工事内容が決定しましたら市役所に確認申請書を提出して承認が下りれば工事着手となります。山門の木材に関しては乾燥期間が必要ですので、早めに手配する予定です。

今回の山門再建を始めとした境内環境整備の工事予定は下記の事項を考えておりますが、工事項目に優先順位を付けて施工していきます。ご懇志の収納状況に左右される事であります。

- 1.山門、山門に伴う塀工事、参道工事
- 2.駐車場入口塀及び門扉工事
- 3.永代供養墓改修
- 4.南側隣家との境塀改修、土地境界確認
- 5.庫裏前・墓地参道階段上一部の敷石改修



※工事の優先順位は、番号の若い順です。

工事開始は、ご懇志の状況にもよりますが平成31年1月頃より着工する予定です。

本年度、春彼岸前までに設計を完了して、春彼岸法要の際に門徒の皆様にご披見して頂き、確認をお願いしたいと思っております。

尚、山門再建工事に関する工事監理は、本堂・庫裏再建時に立会監理を致しました総代の中村 皓二と吉浦 明(両名とも一級建築士)二名と総代会・世話人会にて協議の上、進めたいと思っております。

建立より、427年を迎える長い歴史の中で篤い信心に見守られてきた浄慶寺のまた新しい姿をお見せ出来ると思っております。

新しい門徒さんを増やす一環としても今回の工事を計画致しております。浄慶寺護持の為に、住職と門徒の皆様と一緒に力を合わせてお寺の発展に寄与してまいりましょう。

よろしく、ご協力をお願い致します。

お寺の歴史に残る工事に係わる事を感謝し、精一杯、今回の工事監理に努めたいと思っております。

◇ ご懇志のお願い ◇

山門の再建をはじめとした境内環境整備の為のご懇志を、お願いします。

今年の一月から、ご懇志を募らせて頂いております。

皆様の、ご協力をよろしくお願い致します。

真宗（大谷派・東本願寺）への導き

《第三回》

浄慶寺の主な年間行事

※行事の都度、ご案内いたします

修正会 <1月>

一年の初めに莊嚴を整え、身も心もひきしめ、仏恩報謝の思いをもって新しい年のぞむ仏事です。

春のお彼岸法要 <3月>

人間中心に生きている世界を「此の岸」にたとえ、仏さまの世界（浄土）を「彼の岸」にたとえるところから「彼岸」と呼びます。

彼岸という名は、仏教の原語ではパーラミタ、訳して到彼岸ということであり、此の岸から彼の岸にわたるといことです。信なきものが法を聞いて信心の彼の岸へ到るといことで、人間生活のまことの意義をしめすものです。浄土は、私たちが還っていく世界であると同時に、迷いの世界である此岸に生きる私たちの在り方を照らし、「そのような生き方でいいのですか」と問いかけてくる世界です。お彼岸は、浄土に還っていかれた亡き人を偲ぶと共に、あらためてそのような問いかけに耳を傾け、自分の生活を振り返る大切な時なのです。

永代経法要 <5月>

永代経とは、「亡き人をしのび、末永くお経をあげる」という意味で行なわれる法要です。本堂の法名軸に記帳を希望される方は、申し出の法名を、本堂の法名軸に記帳します。法要に際し、記帳された方の法名・名前を読み上げて供養します。

お盆法要 <8月>

お盆とは、「盂蘭盆」(うらぼん)といい、原語ではウランバナ、「倒懸」(とうけん)と漢訳され、逆さに吊るされるような苦しみを表すものとされてきました。お盆の行事は釈尊のお弟子・目連尊者(もくれんそんじゃ)の物語に由来するものです。神通第一と呼ばれた目連尊者は亡き母を案じ、神通力によって母の姿を探し求めます。すると、母は餓鬼の世界に落ち苦しんでいました。目連尊者は悲しみの中、何とか母を助けたいという思いで、食物を母のもとに運ぶのですが、母のもとでは全てが火や灰に変わってしまうのです。困り果て、釈尊のもとに行き尋ねました。釈尊から安居(あんご)の最後の日、百味の飲食(おんじき)を盆に盛り、仏や菩薩や僧などの聖衆に供えるよう教えられます。目連尊者がそれを実践すると、仏法僧の三宝の功德によって母は餓鬼の世界から救われたといいます。このような由来のあるお盆という行事を、亡き人を通して仏法聴聞のご縁をいただく大切な時としましょう。

秋のお彼岸法要 <9月>

春の彼岸法要参照

報恩講 <11月>

報恩講とは真宗門徒にとって一年の中でもっとも大切な仏事で、宗祖親鸞の祥月命日に勤められる法要です。宗祖親鸞聖人の教えに遇い、自らの依りどころを教えていただいた御恩に報謝し、教えを聞信して、ともに念仏申す身となっていくことを誓います。





行事予定

- 修正会 1月7日(日)
- 春の彼岸法要 3月21日(祝・水)
本堂開放 3月18日(日)~21日(水)
- 永代経法要 5月19日(土)・20日(日)
- 盂蘭盆会法要 8月13日(月)~15日(水)
本堂開放 8月11日(土)~15日(水)
- 秋の彼岸法要 9月23日(日)
本堂開放 9月20日(木)~23日(日)
- 報恩講準備(おみぎき) 11月12日(月)
- 報恩講 11月17日(土)・18日(日)
- 年末本堂開放 12月27日(木)~30日(日)

文芸欄

※このコーナーに、川柳・短歌・俳句などを、お寄せください。

折り合えぬ平行線も良しとする

仮設から家族が戻る設計図

きな臭い地球を悼むかくや姫

煩惱の縛りの中で弥陀に逢う

川柳

山口由利子

お墓についてのご相談、お受けします

墓地内の草取りが、大変な方や少し修理が必要なお墓をお持ちの方は、当寺に出入りの樋口石材さんがお手伝いを致します。



墓地内の床に石を貼ったり、モルタルを塗ったり、その他、墓地のお困り事をどんな事でも、ご相談下さい。お墓のお名前を記入の上、葉書に相談内容を記入して、浄慶寺まで、お送りください。見積をさせていただきます。

お寺の本堂で葬儀を、行いませんか
通夜は、ご自宅か、下記の葬儀社となります

◎お寺での葬儀の連絡窓口として、下記のいずれかの葬儀社へご連絡をお願いします
いずれの葬儀社の場合も連絡の際は必ず『浄慶寺の門徒です。葬儀を依頼します』と伝えて下さい。

また、お寺にも、ご一報をお願いします。
(住職携帯電話:090-2318-3268)

◇みんせい葬祭

福岡市博多区大博町(担当者:竹内)
※お寺での葬儀を希望され、みんせい葬祭に通夜葬儀を依頼される方のみ下記の連絡先に、ご連絡をお願いします。

092-271-7422(24時間受付)

又は、090-1342-0006(24時間受付)

◇お葬式のあおやぎ

福岡市早良区飯倉(担当者:龍相<りゅうそう>)
※お寺での葬儀を希望され、あおやぎに通夜葬儀を依頼される方のみ下記の連絡先に、ご連絡をお願いします。

092-865-4400(24時間受付)

◎お寺での、お通夜については、現段階では、不可能ではありますが、今後、出来るような方策を、考えていきます。



編集後記

謹賀新年
新しい年を迎える事が出来ました。皆様も、よき年をお迎えの事と思います。じょうけいの第三号の発行です。今年も寺報を愛読して下さい。皆様の投稿もよろしくお願い致します。

じょうけい 第3号

《発行》
真宗大谷派 浄慶寺 大塚展彦
浄慶寺門徒会 川嶋正實
〒810-0063
福岡市中央区唐人町3-10-49
電話092-751-0517

《編集》
浄慶寺寺報担当 塩川大一

すきまコラム

御文より

のちの代にのりのことのためにかたみともなれ
ひとたびもまことほのけをたのむこころこそ
ひとたびもまことほのけをたのむこころこそ